



最高のプレゼントに笑顔溢れる 池田中学校野球部に寄贈

9月21日池田中学校野球部に、壊れたものに代わる新しいピッチングマシンが寄贈されました。株式会社 阿波林材が、地元の球児を応援したいとの思いから、贈ったものです。同社は今年1月にも木製のベンチ（6個）を寄贈しています。阿波林材の大岡清次郎さんは「子どもたちが喜んでくれるのが一番嬉しい」と笑顔を見せました。

池田中学校野球部からは感謝の言葉とともに、「ピッチングマシンを使って練習し、勝利をあげてみせます」との誓いがありました。



医療従事者への感謝を込めて 市内の子どもたちからエール

三好市観光協会の呼びかけで、市内22か所の幼・小・中学校の児童生徒が、医療従事者への応援メッセージを書き、9月21日、県立三好病院で贈呈式が行われました。

代表して贈呈式に出席した池田小学校6年の大西深月さんは「コロナが早く無くなって欲しいとの願いを込めた」と話しました。

全部で32枚におよぶ大きな模造紙に書かれた応援メッセージは、三好病院1階に順番に展示され、市内の医療機関にも順次展示される予定です。



迫力ある快音が響く 四国アイランドリーグ PLUS 公式戦

9月16日池田球場で四国アイランドリーグ PLUS 公式戦が開催されました。優勝チームが既に決まり、徳島インディゴソックスにとっては難しい状況での試合となりました。

徳島インディゴソックスは地元池田高校出身の白川恵翔選手が登板し、後期優勝チームの高知ファイティングドッグスを相手に7回を粘り強く投げ抜きましたが、結果は1対6で敗れました。

今年度の四国アイランドリーグ PLUS 公式戦は終了となりましたが、来シーズンの熱い試合を期待しています。



ミヨシシティ MIYOSHI CITY トートバッグが人気 全国で三好市をプロモーション

市が職員用に作ったオリジナルトートバッグを一般向けに販売を始めたところ、新聞などでも取り上げられたことから注目を浴び、大人気となりました。

職員が書類バッグとして業務に使用することで一人ひとりが市をPRする意識を醸成することを目的に作成。若手職員らが中心となり「祖谷溪の小便小僧」をモチーフにしてデザインしました。

8月末に250枚を販売開始すると、全国から注文が舞い込み数日で売切れ。9月末に再販となっても、二日で500枚が完売した大ヒットグッズとなりました。

※再販については未定です。



故郷にご寄付をいただきました 元木道夫氏に表彰状

9月22日、三好市役所にて有限会社ブルーパワー代表取締役元木道夫様から100万円のご寄付をいただきました。

元木様は井川町井内出身で、現在は大阪府茨木市で物流会社を経営され「故郷三好市のまちづくりに活用して欲しい」と申し出がありました。高井市長からは、市政振興に寄与いただいたことにより表彰状と記念品を贈呈されました。

故郷へのご支援に対し深く感謝するとともに敬意を表します。誠にありがとうございました。



自衛隊と地域の懸け橋に 自衛官募集相談員に聞いてみよう

自衛官募集相談員の委嘱式が9月2日に三好市役所で行われました。これは、防衛問題および自衛隊に関心のある方を相談員に委嘱し、入隊希望者へ情報提供するなどの懸け橋となってもらうものです。再任を含む6名（2名欠席）の自衛官募集相談員に、徳島地方協力本部長と高井市長から委嘱状が交付されました。

徳島地方協力本部長は、近年自衛隊の応募人員が減少傾向のため、多くの人に正しい知識・関心をもってもらいたいと話しました。



アロマでマスク生活を心地よく マスクスプレー講座開催

9月19日、中央公民館で公民館講座「手作りアロマ マスクスプレー講座」が開催され、7名が受講しました。

植物の葉などから抽出した精油を調合し、自分の好きな香りのマスクスプレーを作った受講者からは、「初めてアロマを体験し、知らないことをたくさん学習できて楽しい時間でした」などの声が上がりました。大満足の講座となりました。

いろいろな種類のスプレーを作ったり、受講者同士で香りを確認するなど、和やかに癒しの香りを堪能していました。



④ 9/9 救急訓練での救命活動



② 9/22 池田ダム湖で水難事故の救助訓練



③ 8/31 建物火災の消火・救助訓練



① 9/22 池田ダム湖上空のヘリコプターから水難救助の様子

安心安全な暮らしを守るために 消防各署が各種訓練を実施

コロナ下でも市民の安心安全を守るため、適切かつ迅速な対応ができるように、8月から9月にかけてみよし広域連合消防各署がさまざまな訓練を実施しました。

8月31日、池田消防署西分署では、火災が発生した建物内に残された人を救助し消火を行う想定で、火災訓練が行われました。

9月9日、池田消防署では救急訓練が行われました。訓練用の模型を用い、心臓マッサージや薬剤投与など臨機応変に処置していました。

また、9月22日には徳島県消防防災航空隊と消防本部水難救助隊の合同人数30名で、連携強化や救命率向上、時間短縮を目的とした水難救助訓練を行いました。